

Keyword : LINE WORKS

今更、「LINE」について説明するまでもありませんが、LINE は日本国内の生活インフラとしてしっかり定着しましたね。以前にも書きましたが、LINE は東日本大震災をきっかけに急ピッチで開発されたアプリです。元々は、韓国 NHN 株式会社（現、ネイバー株式会社）傘下の日本法人 NHN Japan 株式会社（現、LINE 株式会社）が開発していたものですが、東日本大震災発生翌月から本格的に開発を始動し、2011年6月にLINEの原型をリリースしました。「既読」表示の本来の目的は、安否確認にありました。それが、いつか「既読スルー」が虐めの原因になったり、時代の流れとはいえ想像もつかない方向に向かうものです。最近では、従業員に対して、仕事で使うから『LINE のアカウントを教えてください』が、パワハラになる可能性も指摘されています。つまり、「私的なことに過度に立ち入ること」が、パワハラ6類型の一つに該当するということです。確かに、プライベートで使っているLINEに、上司から仕事のメッセージが届くことは、プライベートと仕事は区別したいと思っている者にとって、気持ち良いものではありません。一方で、LINE を仕事で使えたら、スピーディーに連絡が取れて便利ではあるけれど、会社で禁止されているというケースもあります。いわゆる、「シャドー IT」対策として、社内で使用が許可されていない外部サービスを使用させないようにしている会社も増えてます。

さて、弊社では今月から「LINE WORKS」のトライアルを実施しております。宣伝にならない程度に紹介すると、「LINE WORKS」は、ネイバー（株）傘下の LINE（株）と兄弟会社にあたる WORKS MOBILE（株）が運営するビジネス向けの LINE です。これによって、上記のパワハラ問題やシャドー IT 問題は、全て解消されました。一部の企業ロゴを掲載しましたが、既に規模や業種を問わず1万社を超える企業（組織）で使用されています（図2）。「LINE」と「LINE WORKS」の違いを簡単に比較したものが図3です。「LINE WORKS」は、登録された社員同士でしか繋がれず、データはクラウドに存在するため、万が一スマホなどを紛失したり、退職者が競合他社に転職したりしても、情報が持ち出される心配がありません。スマホ端末にはデータが保存されない上、強制ログアウトや遠隔でデータを削除することも可能です。退職者はログインが出来なくなり、会社のデータは確実に保護されるというわけです。LINE ですから、仕事上でスピーディーなコミュニケーションに用いることは勿論ですが、大勢の従業員を抱える企業にとっては BCP 対策として導入しているところもあります。例えば、メガネブランド「Zoff」では、グローバルを含めて200店舗以上、1,800名超の従業員を抱えており、2016年4月に発生した熊本地震で、アルバイトスタッフを含めた安否確認の必要性を痛感し、個人間の連絡をきちんと行える仕組みを構築するために、LINE WORKS を導入したそうです。

また全国に営業所を持つある会社では、リースしている設備の不具合が生じた際、その不具合の状況を動画で共有し、修理の手配を行ったところ、別の営業所からコメントが入り、同じ症状を経験したことがあって、こうやれば直るというアドバイスをもらって、スピーディーに対処できたとか。これはメールで行えないこともない作業ですが、LINE WORKS だと一瞬で出来てしまい、操作も簡単になります。

企業ばかりでなく、救急医療の現場にも LINE WORKS を導入している病院が増えています。例えば、千葉大学医学部附属病院救急科では、一度にたくさんの患者が運び込まれて来る時や、非常に重症な患者が運ばれて来る時などは、医師をはじめとする医療スタッフを呼び出さなければならず、勤務時間外でも呼び出しに備えて待機する当番制を敷いていましたが、それでも対応しきれないことが多く、忙しい現場で、ひとりずつ電話を掛けて呼び出したり、全員に一斉メールを送信するという方法を採用していたそうです。しかし、「行ける」「行けない」を各自返信されても、それをまとめて一覧で見ることが出来ず、結局、現場は混乱したままという状態になっていたそうです。そんな問題を解決したのがLINE WORKS で、実際、これは昨年になりましたが、数張メッセで行われたワンオクのライブで、約50人が熱中症になり、さらに将棋倒しで数名怪我人が出るという事態になり、その負傷者が病院に運び込まれた際、LINE WORKS で現場の様子（写真やコメント）を関係者全員で共有し、トリアージの様子や刻々と変わる状況を医師やスタッフ達が共有して適切に処置を行ったそうです。因みに、LINE WORKS には、アンケート作成機能もあり、簡単な操作でアンケートフォームを作ることが出来ます。社内会議や懇親会等の日程調整に使える機能です。さらに、人事担当者が、内定者や転職候補者とのやり取りに使い始めています。

今後、LINE WORKS は、ビジネスの現場（主に社内）におけるコミュニケーションツールとして、デファクト・スタンダードになるのではないのでしょうか。



図1



図2：導入実績

個人用	仕事用
友だちとつながる	登録された社員
電話番号で	IDとパスワードで
データは端末に	データはクラウドに
個人で管理	会社が管理

図3：LINEとLINE WORKSの違い



図4：仕事で使える機能

2018 vol.078 11 Legend

対談企画⑫ 後編

楽しく防犯意識を高めたい



一般社団法人日本防犯学校校長 防犯ジャーナリスト 梅本 正行
ゼネラルプロデューサー 防犯ジャーナリスト 榎垣 俊幸

榎垣 防犯を考えた時、冷たい言い方をすると『被害者になった自分も悪い』といえる場合もありますよね。
梅本 被害者が悪いということじゃなくて、自分から損をしている場合があるということですよ。
榎垣 誘発しているとか。
梅本 それはありますよ。誘発している犯罪はいっぱいある。
榎垣 日本は、もっと被害者にならないための教育をしないとね。
梅本 そういうことを教えるのが僕の仕事だと思っていますけども。でも、榎垣さんがやっているエンターテインメントの力で少しピリッとさせるような、全く違う発想から危機意識を持つような何かを考えてもらえないかと思えますね。僕らと違う世界だから、いいアイデアが出てくるんじゃないかな。カタブツが考えたってダメなんですよ（笑）。今、セミナーでは、副学長の桜井と2人でやったりするんですが、それが掛け合い漫才のように受講者にウケるんですよ。最近では、無料のラジオアプリで聴けるラジオ放送も2人でやっているんですが、リスナーからいろいろ質問が来るんですよ。「こういう不安がある」とか「子供に危機意識を教えるにはどうしたらいいか」とか「独り住いをするんだが、どういうことに気をつけたらいいか」とか、バンバン来るんです。だから、やって良かったなと。毎週月曜日の朝8時になると『皆さん元気ですかー！』とやってる。これも新しい取り組み方の一つだと思っています。
榎垣 それはいいですね。そういう楽しくポジティブに防犯意識が身につくのはいい。
梅本 僕は防犯の仕事をやっているけれど、治安というのは特別なものじゃなくて、普通の生活の中に危機意識を持っているか持っていないかだけです。いいツールは、いっぱいありますから。Allにしてもそうだし、カメラなんかでも顔認証システムは入ってきたし。便利なツールはいっぱいあるけれど、まず、意識があってそれを使う。『これはあるけど意識はいらぬ』とバカなことを言うてるから問題があるんですよ。国にビジョンがないんですよ。この国をどういう国にするかという。僕は同じ歳じゃないですか、この年代の人間が長生きすることは嬉しいという気持ちになれない。歳を取れば取るほど不安ばかりが募る。こんな国は恥ずかしいですよ。
榎垣 それは、今、この国に楽しさがないからなんですよ。生きてることが楽しいからだという。ポジティブマインドの拡張ということをきちんとやって、生きること働くことが



モデル：Alexa / Height:170cm B:84 W:62 H:91
事務所：ARTRICK ENTERTAINMENT (アートリック) <http://artrick.com>

adtainとは、adprojectとentertainが融合した「おもてなし」のトピックス誌



右後ろ) 日本初の女性防犯アナリスト 桜井礼子さん

いかに楽しいかということをもっともっとPRできるようにしたいといけな。
梅本 最近、メディアとかを観ていると、若い人も子供たちも「楽しい」という言葉を使わず、皆「面白い」と言いますね。『楽しかった』ではなく『面白かった』『面白ければいい』と。『面白い』と『楽しい』は、ちょっと違うような気がします。
榎垣 違う違う。やっぱりポジティブになることが大事なんです。ポジティブマインドを拡張することは、楽しいことです。楽しい試みが増え、あるいは楽しい社会が増えるから生きがいが増えてくると思うんです。
梅本 分かりますよ、現実の生活があって、問題があって不安もあって、こっちを向いているものすごく不安ばかりだけど、ふと、こっちを見たらニコッと笑えるという。これがゴチャ混ぜではいけない。この線引きが今、出来ていないですね。グシャグシャになっているんですよ。それを感じますね。
榎垣 だから、それをきちんとして、ポジティブマインドがちゃんとできるようになると犯罪も変わってくる。
梅本 変わりますよ。環境というのは意識を持っている人間がどれくらいいるかというだけですよ。例えば、美意識だとかね。秩序の意識だとか、礼儀作法の意識だとかがあるじゃないですか。意識を持っている人間がたくさんいればいるほど治安は良くなるんです。他人のことを考えず、道でぶつかっても知ら

ん顔している人間ばかりが増えていたら犯罪が増えるのは決まっているんですよ。
榎垣 確かにおっしゃる通りです。ワールドワイドになってくると、今度はネットやハイテク関係での犯罪も益々増えますよね。
梅本 こればかりは知能犯だから。金を損するだけで、人の命に関わらなければいいですが僕は命に関係する犯罪は放っておけない。これは取り返しがつかない。
榎垣 今の日本が結果的にこうなったのは俺たちの責任だよ。
梅本 何が大事かを考えないで生きてきた。経済を追っかけすぎた。これは大きなミスジャッジですよ。
榎垣 女の子も経済好きだしね（笑）。
梅本 今、金持ちの若い人がいっぱいいますから。ハンパじゃないですからね。
榎垣 仕事をしているよりネット社会におけるマネーゲームのほうが、はるかに稼げるんだから。
梅本 パソコン一つで何億も稼ぐなんて、考えられない世の中ですよ。
榎垣 そういう社会にしちゃったんだよね。若い人たちに、もうちょっと違うものを起こしてほしいよね。この世の中にね。
梅本 まだまだ、榎垣さんにもその役割がありますから。
榎垣 そのために若い子と恋をしなくちゃ。
梅本 片思いでも恋は恋だからね（笑）。

取材・文/河野 崇 撮影/編集部

T O M O K O O ' S R E C O M M E N D

大変喜ばしい事に願いが叶いまして、皆さんご承知のように根尾くんの中日ドラゴンズ入団が決まりました \(\o^)/と与田新監督スゴイ!! 中日ファンは立浪の再来か、もしくはそれ以上ではと盛り上がっており、昨季新人王に輝いた京田選手とのポジション争いも非常に楽しみなところですよ。はい。

さて、今月のオススメミュージックは、めったにインタビューを受けず捉えどころのない音楽性と奇抜な外見で多くの部分が謎に包まれており、Pitchforkが現在のところ 2018 年の最高点となる 9.1 点を付けて絶賛し、坂本龍一のリミックス・アルバム『ASYNCR-REMODELS』への参加も話題。音楽家として非常に高い評価を得ている Yves Tumor (イヴ・トゥモア) の「Safe In the Hands of Love」です。マーヴィン・ゲイとザ・キュアーをブレンドして、ゴシックなノイズを纏った狂気の才能。これは俄然興味が湧くでしょう? 押し寄せてくるノイズも美しい、沢山の要素が詰ってごちゃごちゃしているのにしっくりくる耳なじみの良い音楽に落ちています。音楽理論の知識が乏しいので上手く説明が出来ないのがお恥ずかしくもどかしいですが、才能の塊としか言いようが無い傑作なので是非聞いてみてください☺

ご意見・ご感想は adtain@adproject.co.jp まで メールでお寄せください。
 発行：株式会社エディープロジェクト 〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-27-4
www.adproject.co.jp

↑上のスペースを外部的にも開放致します。是非、寄稿をお願い致します。
 詳しくは、こちらまで→<http://adtain.tokyo/contribution/>

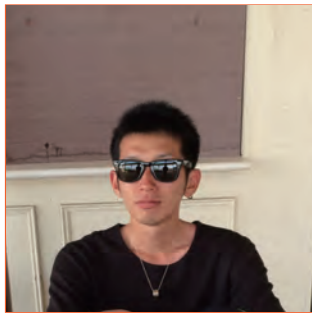
皆様の いいね! をお待ちしております。

facebook adproject

facebook adproject

もしくは、<https://www.facebook.com/adproject.japan>

※梅本 正行氏：NPO犯罪予防相談センター創業者、理事長を経て、2006年4月より日本防犯学校校長を務める。犯罪者心理を知り尽くしたプロの目で、防犯ジャーナリストとして活躍。テレビ・ラジオ・新聞・雑誌等で予知防犯対策を提唱している。



阪本 崇裕

- Event： シュアラスターゼロフィニッシュ
- Date： 絶賛アマゾンでも発売中

もうすっかり寒くなりましたね。家ではコタツが大活躍しております。さて、そんな寒い時期だからこそ、オススメしたい商品がコチラ、「ゼロフィニッシュ」。シュアラスターから7月に発売された商品で、なんと水なし洗車ができています！もう冬の時期に手がかじかむ事はありません。スプレーを車体に「シュッ」→「拭き拭き」これだけです。しかも、ガラスコーティングまで一緒にかけられちゃうなんて…まさに洗車革命！自家用車に3回ほど使用していますが、「艶感」「コーティングの耐久」が特にすごい。中に入っている溶剤の伸びが良いので、車なら約5台バイクなら30台分くらい使えそうです。コーティングをしておけば、汚れはそもそも付きづらくなるし、次回の洗車作業もラクラクなので、時間がない人にはピッタリです。耐熱も300℃まで試験しているの、バイクのマフラーにも使えますし樹脂パーツもOKなので、ゴム(タイヤ等)や、滑ったら危ないところ以外なら、全部コレ1本で洗車から仕上げまでできてしまいます。「寒くて洗車が面倒」「時間がない」「洗車機で十分」って思っている方！是非、この「ゼロフィニッシュ」をお試しください。きっと、洗車が楽しくなりますよ！（時短洗車なはずなのに、私は楽しくなって1時間ほど拭き拭きしちゃいましたw）



耐熱OK!
マフラーOK!!

1本 3,132円 (税込)



EXECUTIVE VICE PRESIDENT：横田 郁夫

- Event： 華のある花処

私は時間があれば日帰り温泉か季節の花の時期には出かけています。今回は開花カレンダーに沿って今年行った花の名所をご紹介します。ただ私は埼玉に近い東京なので、どうしても埼玉県が多くなってしまいました。もっとあちこち行っていたつもりだったのに・・・。

まず3～4月の桜の時期。日本全国名所は沢山ありますが、今年も行ってきました「幸手権現堂桜堤」です。(写真①)ここはご覧のように桜だけではなく、中川土手に沿って黄色の絨毯を敷き詰めた菜の花の競演が素晴らしい処です。ちなみここは紫陽花も有名です。そして4月～5月は栃木県足利フラワーパーク。(写真②)何と言っても大藤が大迫力ですね。天然記念物の紫の藤棚。白・黄色のトンネルの美しさは、木漏れ日の昼間と、ライトアップの夜の2シーン楽しむことが出来ます。同時期には茨城ひたち海浜公園も行っちゃいましょう。(写真③)みはらしの広大な丘一面が青く染まるネモフィラが楽しめます。またこの丘は10月にはコキアに埋め替えられます。夏は緑で次第に色づき、最後は真っ赤な色で丘一面を覆いつくします。(写真④)次は夏を飛ばして秋の花といえば、何と言っても埼玉県日高市巾着田にある曼珠沙華の群生林。(写真⑤)キンチャクのような河に囲まれた地形を深紅の色に染めつくします。この華は別名彼岸花といいますがなぜお彼岸にちゃんと咲くのか本当に不思議でなりません。花を見ながら山口百恵さんの「曼珠沙華」を口ずさむのは私だけではなく、結構ちらほら聞こえてきて嬉しくなっています。そして11月は調布にある神代植物公園のバラですかね。(写真⑥)整然と植えられたバラの間を歩くと多様な香水のような香りが漂います。そしてお腹を空かせて名物の深大寺そばを食べましょう。お腹と目が両方満たされます。メジャーな処だけでしたが、メジャーにはそれなりの意味がありました。これからまた色々な場所を開拓して楽しみたいと思います。



Project 1.

Producer's column

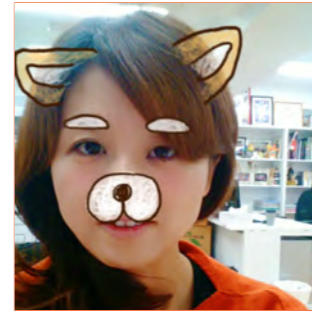
流行語大賞候補「ジタハラ」なるほど…

EXECUTIVE PRODUCER：松延 智明

いろいろな企業のお手伝いをしていると、必ず聞こえてくるのが「働き方改革」「ワーク・ライフ・バランス」です。一見、働く方々にとって良い取り組みのように思えますが、実際は、現場の苦勞がうかがえます。みなさんの会社はいかがですか？

「できれば定時で帰りたい」「余暇を充実させたい」という方々には良い取り組みかもしれませんが、一方、ものすごく仕事が好きで、たくさんやりたくても、会社の取り組みで「働き方改革」「ワーク・ライフ・バランス」などを標榜されると、仕事がやりにくくなるという矛盾がおきますね。また、現場の方々が苦勞されているのが、仕事の量は減らないのに早く帰れという問題。わたしの身近でも、グチっている方がたくさんいらっしゃいます。仮に裁判で「ジタハラ」(時短ハラスメント)が認定されるような判決になった場合、会社はどのような対応に迫られるのでしょうか。労働基準法や政府が推進する働き方改革と矛盾するようで、ちょっと想像がつかえません。本当に全員が納得する「働き方改革」ができるのか、今後の動向が楽しみです(と言ったら、不謹慎でしょうか)。

「ジタハラ」とは「長時間労働を改善する具体策を提案しないまま、経営者や管理職が従業員に業務の切り上げを強要する行為」。



PRODUCER：宮崎 詩子

- Event： 舞台「もーれつア太郎 木枯らしに踊る花吹雪」
- Date： 2018年12月19日～12月24日
- Place： 俳優座劇場(六本木)

赤塚不二夫、といえば、皆さんは多分、「天才バカボン」「おそ松くん」あたりを思い出すのではないのでしょうか。今回、そんな赤塚不二夫の漫画、「もーれつア太郎」が舞台になります。

今回、制作に携わらせていただくにあたり、「タモリが尊敬する人」という認識しかなかった『赤塚不二夫』が、どんな人だったのかを少し調べました。私の中で、昔父はタモリに似ており、その人が慕い尊敬する赤塚不二夫さんという人は、知らないなりに特別な気がしていました。赤塚さんは、とにかくお酒と面白いことが心から好きなおじさんで、顔は横田さん似ということ。(ご存知ない方は一度お越しください)漫画家として考えを問われることも多かったことで「バカ」についての哲学的な名言、格言も多数残っています。

「バカってというのは自分がハダカになることなんだよ。世の中のいろんな常識を無視して、純粋な自分だけのもの見方や生き方を押し通すことなんだよ。だから、バカだからこそ語れる真実っていっぱいあるんだ。」

「もーれつア太郎」の漫画を読み進めて思うのは、「バカ」の中にこそ、よく見えてくるリアルな笑いと憂い。楽しい作品です。人を笑わせることを生きがいにする、素敵な人生ですね。赤塚ワールドを、是非見に来てください。



PRESIDENT： 檜垣 俊吾

PC壊れました。

これを書く数日前、PCが壊れた。PCにちょっとしたトラブルはつきもの。ネットに接続できなくなったり、アプリが開かなくなったり、そして小さなトラブルだけでなく、大きなトラブルが起こる可能性も勿論ある。それは理解していても、どこか他人のイメージであったが、ある日突然、PCが壊れて使えなくなったのは想像以上の致命傷となった。なんとなく最近、立ち上がりが遅いなあ～と思いつつ、壊れる前にPCを注文した翌日のことであった。ログイン画面でパスワードを入れて暫くすると・・・なんと青い画面。うわあつと声を出したが後の祭り。外付けHDDに保存しているものは大丈夫だが、デスクトップに置いてあるファイル、受信メールのデータが頭をよぎった。今のタイミングでは生命線であったため、早速、顧問SEを呼び、診てもらった。SE「ああシステムが壊れちゃってます…」→私「デスクトップと5年分受信メールを助けて！」→SE「何とか頑張ってみます。」→私「お願いします。救出してください！」という流れで蘇生手術が始まった。オペの結果、デスクトップのデータは何とか救済できたものの、メールデータが上手く取り出せない…。メールは今や仕事のノート替わり。クライアントとのやり取りを書き留めた、昔で言えばノートを紛失のようなショック。スマホやノートPCへ転送されたメールが多少はあるものの、全てではない。特に送信済みメールについては、このPCで見れない…。もう火事で燃えて亡くなった事にして諦めようと思うが、まだ多少息を吹く返す旧PCをいじりながら、復活できるかもしれない奇跡を夢見ている切なさ。そんな中これを書いている。どうか今年の締めくくりに良い事がありませんように。

Project 3.

新感覚エンターテイメント！

第2プロジェクト 土井 晃範

真夏のプロジェクトが一段落し、ここ最近様々「秋」に触れております。

■ 田舎に生まれた私は「野球」と「遊び」しかしてきませんでしたが、この年齢になってようやく「芸術の秋」に足を踏み入れています。

■ と言いつつ、今回は美術館や博物館ではなく、舞台のお話です。

■ 現在、京都と千葉で公演中の『ギア-GEAR』を先日観に行きました。こちらの舞台は、日本発×日本初のノンバーバル(言葉に頼らない)パフォーマンスとなり、幻想的な光と映像の演出、

■ 【マイム】【ブレイクダンス】【マジック】【ジャグリング】といったパフォーマンスを組み込んだ内容盛りだくさんの新感覚エンターテイメントです。言葉では伝えきれない部分が多いので、一度観ることをオススメします。こんな私が言うのもなんですが、「芸術の秋」のスタートにはちょうどいいかもしれません♪次回も、現在全身筋肉痛になりながら触れております「スポーツの秋」をお伝え出来るかも(笑)



PRODUCER：岩下 信而

- Event： 「平成」メモワール
- Date： 2018年11月
- Place： 東京都内某

毎年この時期は、欧州に本社を置くグローバル企業の、社内パーティの演出を担当しています。今年クライアントより依頼された演出テーマは「平成」。でも「平成」ってエンターテイメント泣かせ。ベルリンの壁崩壊という、新時代への期待感から始まったものの、世界中で多発したテロ等の人災そして天災、リーマンショック、デフレなど慢性的な経済不況(これも人災だね)、そして、かつては花形だった官僚、テレビ、新聞の見るも無残な劣化等、総じてペシミスティックな話題ばかり。いじくも「平成」元年生まれのチャームイン女性担当者のほやきが、シュールな落語のマクラのように笑えた。「ゆとり世代だの、不景気だのって言われ続け、楽しいコトが何もなかった私の30年を返してほしい」。おい、おい、年齢なくなっちゃうよ(笑)

「平成」エンタメネタとして成立するのは、世界大会での優勝や海外チームで活躍したプロスポーツと、Apple、Windows 9 8、PHS、imode、iphone、そしてAI、IoT等の技術革新だろうか。それにしても「音楽、スポーツ、セックス」が世界共通のコミュニケーションと言われたのは古のこと。「平成」ボーイズは、データで音楽を、ゲームでスポーツを、動画でセックスを楽しみ、満足しているような気がする(個人の意見です)

「平成」はベルリンの壁崩壊ではじまり、メルケル首相退任表明でおわる、あたかもドイツに話題をもっていかれた印象。次の年号は日本が象徴的な話題を提供できるといいですね。そんな「平成」もあと半年。「平成」ガールズ&ボーイズには残念なお知らせです。新しい年号が誕生したら「平成」生まれだからって、キャバクラや合コンで、話題にならなくなるぜ。レンタルDVDなら「最新作品」から「一般作品」扱いになり、1週間レンタルが可能になる。もっともほくたち「昭和」は「クラシック作品」の棚に移動されちゃうけどね。ぼくの棚が名作コーナーであることを願うばかり。

さて今月の締めは、「平成」のみんなが大好きな清水邦依と、

■ 更風に♪「平成もback numberとやらになるんだよなあ♪」では次号、

■ Ciao! (多分この号続く)



Project 4.